

ASA
大田中央

ASA
東大井

有限会社 芝原新聞販売
Presents
2008.12月

ASAスタッフは町歩き達人でもある。朝日新聞販売店近く近所散歩ミニミニ

歩く目的

No.20
(毎月25日発行)

この神社の狛犬さんは彫られた牡丹の花まで見事!



荏原神社

北側から南を見守る南品川宿の鎮守、由緒ある荏原神社。昔は目黒川の南側だったが川の改修工事で、今は北側に。

おふくろの味、30品以上! 30年以上続くお総菜屋さん「彩」。弥次さん喜多さんも思わず飛びつく!?



彩

松場
の広場

第1京浜

京急線

街道松の下で「街道松の広場」の縁台。頭上の街道松が東海道の雰囲気盛り上げてくれる。

願行寺の「しぼり地藏」自ら縄で縛られながら、苦しみを代わりに引き受けてくれるお地藏さん。



境内に名木多数 樹齢150年以上の黒松がある常行寺。真横に10m以上伸びた枝ぶり! 他に品川区文化財認定の珊瑚樹などもある。



お顔のやさしい阿弥陀如来 心海寺のご本尊、木造阿弥陀如来立像。制作年代は鎌倉時代で品川区の指定文化財。※拝覧の際は事前に連絡 問:(3471)8068

今は駄菓子屋さん 江戸の頃、鉄火場(賭場)があり賑わった場所。この周辺で賭事中に手軽に食べられるもの…と、「鉄火巻き」が誕生した。

願行寺

心海寺

常行寺



その2 南品川宿界隈

東海道五十三次の第一番目の宿場、品川宿を前号に続き散策。かつて旅館屋や茶屋など、600軒以上の店で賑わった街道筋周辺。今回は目黒川を挟んで南側の南品川宿一帯をご紹介します。

目黒川

石畳の南品川宿 街道の佇まいを想わせる南品川の商店街だ。正面から朝日が差し込み、散策は一層気持ちいい。

旧東海道

旧東海道品川宿の古今を探す 2

かつての海沿いを歩く 東海道から一本東へ入った道。家の下に積み上げられた石の土台は江戸後期のもので、昔ここが海沿いだった頃のなごり。石の種類や積み方が各家によって異なるのがおもしろい。

築200年以上! 外壁は綺麗に補修されているが、江戸末期頃の土蔵。今も現役!

坂道の正体は? かつての渚が作ったなだらかな坂道。子ども達が自転車で気持ち良さそうに下っていく。

元なぎさ通り

えんま様お墨付きの辛さ!
 長徳寺の閻魔様にちなんだ、「遠道家」さんの「閻魔いなり」。中に2種類の一味唐辛子が入った人気のいなり寿司。この辛さが後を引きまます!(1個100円)

ジュネーヴ平和通りを渡る大通りに出た。交通量が多く、賑やかになる界限。

ジュネーヴ平和通り

竹内医院

品の良い洋館は、明治時代に建てられた「竹内医院」。玄関には見事なステンドグラスが。

釜屋跡 常連客は新撰組
 新撰組の定宿だった旅籠屋「釜屋」跡の説明板。あの土方歳三も、隊志を連れて慶応3年に訪れている。

南品川宿の街並み
 寺社のある界限を抜けて南品川宿もあと少し。

旧東海道はまだ続く
 南品川宿もとうとうここまで。その先はすぐに鮫洲商店街の入口。宿場町が終わると、東海道はまた違う顔を見せるのだろう。今度はあの先へと、さらに歩いていってみよう。

品川宿を歩いて

2回に分けて歩いた品川宿界限。旅人の出発の地、庶民の遊興の地として日本中から人が集まった場所。よく見ると、街のあちこちにその面影が残っていました。朝も夜もなく賑わった江戸の頃を想像しながら歩いてみて下さい。

旧東海道

遠道家

天妙国寺

豊松岡

鷺子

品川寺

海雲寺

石標

南品川のえんま様
 その形相に、思わず縮み上がったことある天妙国寺。歌舞伎や春日八郎の歌に登場する「お富さん」のモデル、さちのお墓もある。

長徳寺

あのお富さんも眠る
 徳川家康が江戸入りの際宿泊したこともある天妙国寺。歌舞伎や春日八郎の歌に登場する「お富さん」のモデル、さちのお墓もある。

お寺の間には
 お寺とお寺の間の細道。各寺院の境内は紅葉の隠れスポット。銀杏などを探しながら歩こう。

畳屋さんの脇で
 大正時代から畳を作っている「畳松岡」さん。店の脇の縁台は「休み処」になっている。

「昔は海雲寺の境内にスズメがたくさん集まったんだよ」。店主の思い出から生まれた、和菓子屋「鷺子(とりのこ)」さんの名物、雀最中。

江戸の火消しが集結
 火と水の神、荒神様が祀られている海雲寺。本堂の天井には、火消しの纏(まとい)図がぎっしり描かれていた。

青物横丁駅

旅人の安全を見守った品川寺山門前に鎮座する地藏菩薩、江戸六地藏第1番にあたる。賑やかな品川宿を離れ、目指す地へと向かう旅人たちが旅の安全を祈願した。

街道に立つ石標
 この道が、岩倉具視墓所(海曇寺)へと続く参道であることを示す石標。

第1京浜

海曇寺

※次回は、「池上七福神」を巡る予定です。

バックナンバー差し上げます。(専用インダー付) ASA大田中央・ASA東大井までご連絡下さい。

- 創刊号「内川の終点まで歩く」
- 第2号「近所で迷う」
- 第3号「休日のプリマヘ」
- 第4号「青物横丁の鯉」
- 第5号「気になる店に入ってみる」
- 第6号「白田坂遊遊」
- 第7号「駅前だって散歩道」
- 第8号「運河までひと歩き」
- 第9号「池上のお山にのぼる」
- 第10号「水族館水中散歩」
- 第11号「大森名物のり探し」
- 第12号「野鳥公園で1日」
- 第13号「朝市は三文の徳」
- 第14号「船のデッキや歴史を歩く」
- 第15号「走って、登って、ジャンプ」
- 第16号「行こう!花火大会」
- 第17号「運河・東京港・水上バスの旅」
- 第18号「羽田空港ターミナル探検」
- 第19号「旧東海道品川宿の古今を探るその1」